

大雁塔

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

大雁塔（だいがんとう、拼音: Dà yàn tǎ）とは、**652年**に唐の高僧玄奘三蔵がインドから持ち帰った**経典**や**仏像**などを保存するために、高宗に申し出て**建立**した塔。中華人民共和国陝西省西安市雁塔区にある大慈恩寺の境内に建っている7層64mの仏塔である。

名前は、菩薩の化身として雁の群れから地上に落ちて死んだ1羽を、塔を建てて埋葬したことに由来する。当初は5層の塔で、玄奘自ら造営に携わったと伝えられる。各階に仏舎利がおさめられ、経典は上層部の石室に置かれた。塔の南門には（褚遂良書）の筆による碑が置かれた。しかし、表面を磚に覆っただけで土で造られていたため、50年程で倒壊してしまった。そのため、長安年間（701年 - 705年）、武則天の統治時代に、全て磚で造られた10層の塔が建てられた^[1]。これで上まで登れるようになった。この様子は、杜甫や岑参といった詩人たちによって、詠まれている。

唐時代に進士試験の合格者がここで名を記したことから、「雁塔題名」の成語も生まれた。後に宰相になった場合、その名は朱色に書き換えられた。また、訪れるものに自分の名を書くものもあり、唐代の詩人の李商隠の名が残っている。また、日本から訪れた円仁も登ったことがあった。

その後、北宋の熙寧年間（1068年 - 1077年）に火事に罹災し、1556年の華県地震では頭頂部が崩落し現在のような7層の塔に改修された。中華人民共和国成立後にも修復工事が行われた。

第1層には、仏菩薩の線刻画や、「大唐三蔵聖教序」（褚遂良書）及び、高宗撰の序記の2石碑が見られる。また、寺中には、王維や呉道玄らの絵画も収蔵されている。

2014年に「シルクロード:長安-天山回廊の交易路網」の一部として世界遺産に登録された。現在でも、最上層まで登ることが可能である。

目次
傾斜問題
脚注
参考文献

大雁塔

ユネスコ世界遺産



Giant Wild Goose Pagoda

登録名	R06-CN Great Wild Goose Pagoda
所在地	中華人民共和国陝西省西安市雁塔区
所属	シルクロード:長安-天山回廊の交易路網
登録区分	(ii), (iii), (v), (vi)
参照	1442 (http://whc.unesco.org/en/list/1442)
登録	2014年(第38回委員会)
座標	北緯34度13分11秒 東経108度57分34秒



中華人民共和国における大雁塔の位置

大雁塔

中国語	大雁塔
発音記号	
	標準中国語
漢語拼音	Dà yàn tǎ

関連項目

傾斜問題

大雁塔は西北方向に傾いている。清の康熙58年（1719年）にすでに198ミリメートル傾いていたが、1945年以降地下水の採取のしすぎによって地盤沈下が起きて傾斜速度が早まり、1996年には傾きが1010.5ミリメートルに達した。西安市は1997年によりやく地下水対策を施し、その後は年に1ミリメートルほど傾斜が回復しつつあるという[2][3][4]。

IPA	[tâ jân tʰà]
粵語	
イエール粵拼	Daaih-ngaahn taap
IPA	[tài nàn thā̃p]
粵拼	Daai6-ngaanh6 taap3
閩南語	
台湾語ローマ字	Tuā-gân thah

脚注

1.

↑ 途中で10層まで増築された説にはついては異説もある
2.

↑ 王楽文「大雁塔：傾斜似山倒 回正如抽絲 (http://paper.people.com.cn/rmrb/html/2007-03/29/content_12663516.htm)」『人民日報』、2007年3月29日。（中国語）
3.

↑ 「傾いた大雁塔、毎年1ミリずつ回復 (http://www.peoplechina.com.cn/wenhua/2008-01/14/content_95728.htm)」『人民中国』。
4.

↑ 「中国版「ピサの斜塔」、傾斜の進行がストップ！あと1000年で垂直回復？—陝西省西安市 (<https://www.recordchina.co.jp/b12721-s0-c30-d0000.html>)」『Record China』、2007年11月11日。

参考文献

- 松浦友久、植木久行『長安洛陽物語』（集英社、1987年、ISBN9784081620029）

関連項目

- 仏教のシルクロード伝播
- 小雁塔

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=大雁塔&oldid=88085217>」から取得

最終更新 2022年2月17日 (木) 08:48（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。